

輝けロータリアン、ささやけ歴史の真実

～あなたの笑顔が見たいから～



行田ロータリークラブ

国際ロータリー第2570地区 第5グループ

2023-24RI 会長:ゴードン R.マッキナリー ガバナー:高丹秀篤 会長:坂本研一/幹事:小池俊輔
例会日:木曜日午後 12:30 会場:ガーデンパレス 編集・発行:IT、公共イメージ向上委員会 委員長:小松和弘

第11回(第2710回) 2023年 9月第4例会 9月27日(水)

[白河 RC 合同夜間例会]

三方領地替 200 年記念交流例会

- 点鐘
- 会長挨拶
- 幹事報告

- 調印式
- 懇親会

○ 点 鐘

会長挨拶 / 坂本研一会長

行田・白河 RC 交流の歴史を過去の週報を元にお話してきました。

国際ロータリー第2570地区
行田ロータリークラブ
2005～06 国際ロータリーのテーマ
「超我的奉仕」

RI会長:カール・ヴィルヘルム・ステンハマー / ガバナー:野中弘之
会長:内山俊夫 / 幹事:山本憲作
クラブ会報委員会
委員長:浪野登章 / 副委員長:廣川和夫
委員:島田修、鈴木貴大、田中敏男、石渡健司、小笠亮祥、廣世雅昭

例会日:木曜日
午後12時30分開会
会 場:アドバンテスト
行田クラブハウス

第1938回 特別例会 (9月16日)

SERVICE Above Self

白河提灯まつり & 姉妹クラブ協定自動延長覚書調印式





会長挨拶

白河 RC 阿部会長

皆さん今日は、多くの皆さんに御出席頂いた事に對しまして、深く感謝申し上げます。
我、白河クラブでは女性会員が、増えたかのように見えまして、毎月御婦人が月一回の例会に出席いただいています。はじめての思考でございます。
白河クラブの奥様ほか、行田クラブの奥様方に出席いただき誠に有難う御座います。
9月は全国的に敬老月間です。百歳以上の方が増えていまして、五十人に一人が百歳以上の方がいる、と私の前に務めていた福島民報に出ていましたので正確です。
そして少子化が大変心配になります。私より十歳も若い方は年金がもらえなくなるといいます。
これから今日は色々の行事が有りますので、この辺で会長挨拶とさせていただきます。

歓迎の挨拶

RI第2530地区バスタガバナー
富永健雄 様

遠近さんより、白河、行田ロータリークラブ姉妹クラブの締結と経緯書を書いて頂き、有難う御座いました。
白河と行田は近からず、遠からずの恵まれた距離で交流がうまく行っているのではないかと、感じている次第です。
本日は行田クラブから多くの会員、又奥様において頂き有難うございます。そして私の同期であります高橋バスタガバナーにも御参席頂き有難う御座います。
姉妹締結を結んでもなかなかうまく行かない例も沢山有りますが、白河、行田さん、とは人間的な親しみや行田市、白河市の色々な結びつきや地域の考えなどが同じで、このような友好が続いているのではないかと思います。
簡単ですがこれで、歓迎の挨拶と致します。



姉妹クラブ締結の経緯

姉妹クラブ締結調印式実行委員長
(締結当時) 渡辺栄一 様

平成9年10月28日
・行田クラブより初めて白河クラブ訪問。渡辺、小山、高橋(仮)会員、例会へ。

● 12月4日
・白河クラブより行田クラブを訪問。鈴木邦典、会島他、数名例会へ。今後の交流を約束。
以後、双方の友好クラブ締結を目指して交流頻密に始まる。
・白河より古代蓮見学会。例会参加、市内見学会、懇親会、親睦ゴルフ界会、例会卓話講師交換始まる。

平成10年6月6日
・友好クラブ締結調印を行う。
(白河クラブ創立40周年記念式典参加の際)

● 8月29日
・白河市に大水害発生。行田クラブより渡辺、小山、高橋会員、見舞訪問と見舞金贈呈。

平成11年5月20日
・行田で姉妹クラブ締結調印式。盛大に開催。
元忍藩主阿部家当主阿部正晴氏も来賓。

● 6月19日
・第1回両市小学生交流体験学習会開催(那須甲子少年自然の家)。以来毎年交互に開催。
・行田、白河姉妹都市交流事業に協力開始。

● 9月14日
・行田クラブより白河提灯祭に参加(大型バス)。両クラブの会員、家族大懇親会開催。
・行田クラブの会員、大平白河へ訪問体験する。

以後、姉妹クラブ提携2回自動更新し現在に至る。(8回目)

◎現在実施されている協定に基づく交流事業
*小学生の交流体験学習会。(毎年1回60～70人1泊2日)
*卓話講師交換、年間2人づつ4回。
*親睦ゴルフ会、年2回。
*相互のお祭り参加旅行。
*随時交流会実施。
*家族交流会多数。
他に相互の会報に投稿掲載準備中。
(文責・渡辺)

ロータリークラブ姉妹クラブ協定自動延長覚書

白河ロータリークラブ 阿部会長・鈴木幹事
行田ロータリークラブ 内山会長・山本幹事

立会人 R1第2530地区 富永(バストガバナー)
R1第2570地区 高橋(バストガバナー)
R1第2570地区 小池(バストガバナー)



祝辞

バストガバナー 高橋福八様

白河・行田ロータリークラブの意義ある、姉妹クラブ協定自動延長覚書の三回目の調印式の立会人として参加できましたことは、大変光栄に思います。渡辺さんより事前に経緯書を送り頂き拝見致しました。単に締結するのではなく小学生まで巻き込んで、さまざまな行事にお互い参加している、これが本当の姉妹クラブだなと、うらやましく感じしております。案の定想像していた通り、親戚付き合い、又兄弟が再開したような雰囲気を感じることがここに至るまで感じまして本当にうらやまし限りであります。そして日本の三大提灯祭と聞きまして提灯だけに、提灯しみがなくなるといふ感じが、こんな素晴らしいことはないと思います。

午前中、高永さん、新妻さん夫妻で市内見物を見せて頂いた車の中で、行田、白河クラブの仲の良さ、親睦が実ていると言う話を聞きまして、本当に素晴らしい事だと思います。私の知る限りでは、国内でこんなに仲良くお付き合いしている所はそんな

に無いと思います。車で2時間少しという距離、2時間ですが風合いがまったく違う日本の故郷の感じがしまして、素晴らしい所だと感じました。この提携が永遠に続きますように、そして友情の輪を通してより多くのクラブが基々発展します事を急いで祝辞と致します。

バストガバナー 小池英輔様

本日は白河ロータリークラブ第2431回の例会に、行田ロータリークラブの31名のメンバーと同伴させていただきました。白河提灯祭りの見学を兼ねまして姉妹クラブ協定自動延長覚書の調印式が、このように盛大に開催されました事を、心からお祝い申し上げます。

先ほど白河と行田クラブの姉妹クラブ締結の経緯につきましては、渡辺栄一会員からの御説明の通りでございます。

(次頁へつづく)

国際ロータリー第2570地区
行田ロータリークラブ
R1会長：グリーン E. エステス シニア / ガバナー：橋田 弥寿男
会長：黒淵陽夫 / 幹事：島崎政敏
例会日：本曜日 午後12時30分開会
クラブ会報委員会 会場：アドバンテスト 行田クラブハウス
委員長：中倉健二 / 副委員長：境野登章
委員：岡田剛之、島田修、反町清
大谷浩一、山本栄治

第1926回 児童交流会 (6月4~5日)

2004~05 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーを祝おう」
CELEBRATE ROTARY
100 Years

白河・行田児童交流会



第7回白河・行田児童交流会が6月4~5日とで行われました。
5月4日、行田市立中央小学校の東門前にて午前7時45分より結団式が行われ、小学校の先生や生徒や父兄やPTA関係者、そして行田ロータリークラブのメンバーの方々に大型バス1台と境野会員の車にて一路白河に向かいました。



午前10時30分頃に白河私立第一小学校に到着し、出迎いの式です。その後、小峰城の見学です。そこで子供達は各自持参しました弁当を先生の上で思い思いに広げ、弁当を頬張っておりました。そして飯船崩しをして遊んで、間もなく雨が降ってきてしまいました。急いでバスに戻り、甲子温泉の大黒屋さんに向かいます。雷うまでもありませんが、白河ロータリークラブのメンバーの方の温泉宿です。ここで休憩の後、国立那須甲子少年自然の家に向かいました。



「始めの式」、そして部屋割り等して、午後6時頃より夕食です。パイキング形式の夕食で、子供達にとっては嗜好物はかり……。子供達を見ていると本当に美味しく食べておりました。そしてキャンプファイヤーです。この少年自然の家では、室内でキャンプファイヤーを出来る施設が整っておりまして、新そこに集まりキャンプファイヤーをしてその後色々なゲームをして遊びました。その後子供達は、午後8時頃より入浴して、午後9時から10時頃には就寝したようです。

その後、父兄と先生方と、白河・行田両クラブのメンバーにて懇親会です。両クラブの会長の挨拶、そして学校関係者とPTA関係者のご挨拶を頂き、乾杯となりました。



2日目
朝6時半の起床です。午前7時より朝の備いをして、午前7時半より朝の朝食です。その後、国立新湊甲子少年自然の家周辺の自然散策をして朝の掃除をして、午前9時には少年自然の家を出発です。

遊川ダムを見学した後、新甲子遊歩道の散策です。その後また国立新湊甲子少年自然の家に戻り、昼食を摂りました。



午後1時よりお別れの式を行い、皆して記念写真の撮影です。午後1時半に国立新湊甲子少年自然の家を出て、行田に向けて帰途に着きました。午後4時に行田に到着予定でしたが、いづらか遅れて無事に中央小学校に到着しました。その後、解散式を行い、解散となりました。

1日目は朝にも離れてしまいましたが、子供達は一部始終充実そのものでして無邪気で目を輝かせてとても楽しい思い出になった事と思います。そして白河の子供達と行田の子供達とアツと云う間に打ち解けたようとして、「お別れの式」では本音に名前を呼ぶしそでもありました。こんな大変素晴らしい企画をして頂きました武田幸真先生を始め関係者の皆様、本当にどうもありがとうございました。



国際ロータリー第2570地区
行田ロータリークラブ
R1会長：ジョンサンB.マジニアバ / ガバナー：高山 幸
会長：湯本茂作 / 幹事：小林一好
副会長：石塚新司 / 副委員長：大塚浩一
委員：真貝俊英、購買健一
例会日：本曜日
午後12時30分開始
会場：アドバンテスト
行田クラブハウス

2003~04 国際ロータリーのテーマ
「手を貸そう」



第1880回 例会 (6月19日)

第6回白河・行田児童交流会例会

今例会は、白河から招いたこどもたち24名と、行田市立中央小学校の児童23名による交流会でした。



会場の湯本ホテルグラウンドには、さきたま火祭りの産屋・かがり火スタンドなどが設置され、5時過ぎには会員などがカレライスで陣こらえをして開始の時を待ちました。

6月7日の夏をむかへ、目前にした一番日の長い時期の晴れた日なので、6時半を過ぎてもまだ明るい状態でしたが、湯本会長、山本副会長等運営役員は開始前準備の入室入念な打合せを続けておりました。ようやく薄暗くなりかけた7時過ぎ、第2回ミニ火祭りが開始されました。



祭りの白衣の裾には鮮やかな2本の赤線が入り、金色の帯を結び、顔には舞字に準じたヘアバンドをつけ、古代人の姿に扮したこどもたちの表情は、やや緊張気味でした。

6人のたいまつを持つこどもに先導され、8人の大人(役員)が担ぐ「コノハナサクヤ姫」の蓮台(團)が先、次に、6人に先導されて「二二平ノ尊」の乗る蓮台が後をみます。その後、たいまつを持った残りのこどもたちが続き、闇の中に炎のゆらめきと流れる幻想的な照明に、異形で守衛ついでに人たちの胸から感動の音が聞こえました。左回りに産屋を1周した行列は、円陣をつくって止まると、中央の産屋が籠かに照らし出されました。



19:03、湯本会長の「かがり火点火」の号令のもと、担当(森島役員)が4基のかがり火に次々に点火し、火祭り開始の準備が整いました。湯本会長「たいまつ点火」の合図で、40余人のこどもたちのたいまつに火がともされ、雰囲気は一気に高まりました。



蓮台から下りたこども扮する「コノハナサクヤ姫」と「二二平ノ尊」の2人が、手にしたたいまつで産屋に点火すると、むらで照らした小室は瞬く間に、5・6メートルも炎をあげ辺りを明るく照らし出しながら勢いよく燃え上がり、感動のよめきを生じました。火祭りのクライマックスの場面です。

こうして開始からちょうど30分ほど、最後に花火の打ち上げで締めくくられたミニ火祭りは終了しました。



白河・行田のこどもたちは、この後8:30までゲームなどして解散となりました。帰途を辿るこどもたちの中に、両市の親善を深める明るくあたたかな火をともして奇宵の例会は無事終了しました。

出席報告

その後の白河クラブ代表者と共に行われた懇親会も和やかに進められ、次の交流での再会を約し散会しました。

正会員数	73名	内職務規定出席者	3名
出席免除者	12名	マークアップ	3名
本日の出席者	34名	出席率	55.74%

調印式



懇親会



懇親ゴルフ大会

